

令和6年度飯山市美術館運営協議会（第2回）

日時 令和7年（2025年）2月20日（木）15:30～

場所 飯山市公民館 101 会議室

1 開 会

2 あいさつ

- ・ 廣靖彦美術館運営協議会長
- ・ 山田晃教育長

3 協議事項

- （1）令和6年度事業報告について
- （2）令和7年度事業計画（案）について
- （3）令和8年度以降の企画展等の予定について
- （4）その他

4 そ の 他

- （1）美術館運営協議会の任期について
- （2）その他

5 閉 会

改正

平成18年2月20日教委規則第1号

平成20年3月24日教委規則第2号

平成27年3月31日教委規則第4号

飯山市美術館運営協議会規則

(趣旨)

第1条 この規則は、飯山市伝統産業会館条例（昭和57年飯山市条例第22号）第19条に定める飯山市美術館運営協議会（以下「協議会」という。）の委員の定数、任期その他必要な事項を定めるものとする。

(定数)

第2条 協議会の委員の定数は、12人以内とする。

(任命)

第3条 委員は、学校教育及び社会教育の関係者並びに学識者から教育委員会が委嘱し、又は任命する。

(任期)

第4条 委員の任期は、2年とする。ただし、補欠委員の任期は、前任者の残任期間とする。

(会長)

第5条 協議会に会長を置き、委員が互選する。

2 会長が会務を総理する。

3 会長が事故あるときは、あらかじめ会長が指名した委員がその職務を代理する。

(協議会)

第6条 協議会は、美術館の運営に関し教育委員会の諮問に応じるとともに、教育委員会に対し意見を述べることができる。

(会議)

第7条 協議会は、会長が招集し、会長が議長となる。

2 協議会は、委員の過半数が出席しなければ会議を開くことができない。

3 協議会の議事は、出席委員の過半数で決し、可否同数の場合は、議長の決するところによる。

(補則)

第8条 この規則に定めるもののほか、必要な事項は、教育委員会が定める。

附 則

この規則は、平成9年4月1日から施行する。

附 則（平成18年2月20日教委規則第1号）

この規則は、平成18年4月1日から施行する。

附 則（平成20年3月24日教委規則第2号）

この規則は、公布の日から施行する。ただし、第1条の改正規定は、平成20年4月1日から施行する。

附 則（平成27年3月31日教委規則第4号）

この規則は、平成27年4月1日から施行する。

令和6年度飯山市美術館運営協議会委員 名簿

飯山市美術館運営協議会委員 名簿（敬称略）

	氏 名 等	備考（推薦団体等）
1	廣 靖彦（会長）	学識経験者
2	千坂 経悦（職務代理）	学識経験者
3	飯塚 みずき	飯山市校長会
4	吉越 隆師	飯山市芸術文化協会
5	篠原 敦子	飯山市芸術文化協会
6	明石 洋一	飯山仏壇事業協同組合
7	阿部 拓也	内山紙協同組合
8	佐藤 環	学識経験者
9	前島 憲一郎	社会教育委員会

（任期：令和7年4月30日まで）

教育委員会関係者

1	山田 晃	教育長
2	田中 良則	文化振興部長
3	井端 伸介	文化交流課長（兼）美術館長（兼）美術館係長
4	木村 友子	会計年度任用職員
5	木村 直子	会計年度任用職員

	事業名	内容・効果等	期間・会場等	入館者数等
常設展示	所蔵品展(前期)	飯山市出身あるいはゆかりの芸術家で、これまで企画展を開催した画家の作品を中心に展示。美術館収蔵品60～70点を展示した。 作家名等:長谷川青澄(日本画)・宮澤鉄夫(日本画)・相原求一朗(油絵)・駒村久彌(油絵)・岩上隆静(水彩)・齋藤一郎(和紙作品)・小林起一(コンセプチュアルアート)	(R5.12.2～) R6.4.1～R6.4.11	入場者数:478人
	所蔵品展(後期)	後期は、上野正夫、相原求一朗、松澤芳宏らの寄付受入作品を加えた展示とした。	R6.12.7～R7.3.31 (～R7.4.17)	入場者数:222人 ※R7.1.31時点
企画展	松蔭寺と細川家の秘宝 ブッダと白隠禅師展	松陰寺(静岡県)永青文庫(東京都)が所蔵している白隠禅師の第一級の作品を高精細スキャニング技術により再現した複製書画46点を展示。難解とされる白隠の作品を専門家の詳しい解説とともに鑑賞できる機会を提供した。	R6.4.20～R6.6.9 開館日数:51日 会場:展示室	入場者数:469人 ※うち有料315人
	猪瀬清四朗彫刻展 一人体彫刻を追究した60年ー	飯山駅前公園に設置されている丸山邦雄像を制作した市出身彫刻家、猪瀬清四朗(1937-2023)の回顧展を開催。国展に出品した等身大人物像50点を中心に首像などの小品を合わせて70点余りを展示し、生涯をかけて取り組んだ人体彫刻の世界を紹介した。美術館で市バスを手配等し、城北中57名来館。	R6.6.15～R6.9.23 開館日数:101日 会場:展示室、ロビー	入場者数:1,110人 ※うち有料608人
	長野県立美術館移動展 ～丘にそって、河にそって～	長野県立美術館所蔵作品を県内各地で紹介する「移動展」が飯山で開催された。草間彌生をはじめとした信州を代表する作家の作品や近年新たに収蔵された小山利枝子、小松美羽、柳原澄人など、油彩、水彩、版画、アニメーション他という幅広いジャンルから現代美術作品含め30点が展示された。美術館で市バスを手配等し、城南中189名来館。	R6.9.28～R6.10.13 開館日数:16日 会場:展示室	入場者数:1,448人 ※県立美術館の方針により入館無料
	～伝統美と創造の世界～長谷川青澄没後20年展	市美術館が所蔵している院展出品作品から特に重要と思われる30点と普段は見る事が出来ない個人や施設が所蔵している作品約50点を展示し、飯山市名誉市民の日本画家、長谷川青澄の70年に及ぶ画業をあらためて振り返った。関係者の高齢化が進む中、市内個人の作品所蔵状況を確認する機会となった。美術館で市バスを手配等し、城南中と飯山高校合わせて135名来館。	R6.10.19～R6.12.1 開館日数:44日 会場:展示室、ロビー、2階ギャラリー	入場者数:710人 ※うち有料259人
美術教室等	はって、はって、ちぎり絵アート	和紙と押し花を使ったアート作品作りを実施。誰にでも出来る簡単な工作でありながら、子どもそれぞれの個性が現れた作品が出来上がった。	R6.8.2 会場:公民館101	参加者数 小学生 15人
	空飛ぶクラゲをつくらう!	色画用紙やスズランテープなどを使って飛ばして遊べるクラゲを作る。制作後は皆で飛ばして遊ぶ予定。	R7.3.29(予定) 会場:公民館講堂	募集人数:16人
その他	作品の寄付受入	1 上野正夫作品2点(横須賀市在住のご遺族から) ①Twisted column ②Untitled 2 松澤芳宏作品3点(市内在住の作者から) ①雪晴れる街 ②春への日ざし ③晴れた日に 3 相原求一朗作品1点(川越市在住の個人から) ①田園待春	1 R6.10.16 寄付採納承認 2 R6.10.16 寄付採納承認 3 R6.11.22 寄付採納承認	
	公民館内市民ギャラリー	市内で活動しているグループや個人の作品発表を支援した。図書館入口ガラスケース:6グループ、2個人 公民館廊下:4グループ、飯山高校美術部	随時	

令和7年度事業計画（案）

1 収蔵品展

内容： 飯山市出身あるいはゆかりの美術家及び企画展を開催した美術家の作品を中心に収蔵品展を行う。美術館収蔵品及び借用作品を合わせて60～70点を展示する。

期間： ①令和7年4月1日(火)～令和7年4月17日(木)

※展示内容は令和6年12月7日から継続

※4/19日(土)・4/20日(日)の二日間は飯山市民芸術祭会場として使用

②令和7年4月23日(水)～令和7年5月28日(水)

③令和7年11月29日(土)～令和8年3月31日(火)

※展示内容は令和8年4月中頃まで継続

2 企画展開催事業

(1) 『(仮称)冬耳展』 ※資料10ページ

期間： 令和7年6月7日(土)～令和7年8月31日(日)

内容： 市内瑞穂地区在住の美術家、冬耳氏（R5春に大阪から移住、本名：中川健）の個展を開催する。色と形による色面構成を主体とした冬耳氏の作品は、風景や動植物などの具象的な形態が取り込まれながらも、画面全体は非日常的で抽象性の高い要素に支配された精神世界が表現されている。近年、「人と自然の共生」をテーマとした制作に取り組む中で支持体の矩形は四角形から不定形へと変化し、色彩は更に明度や彩度が上がるなどダイナミックな展開を見せている。

飯山市を拠点に活動している現代美術家の質の高い作品を老若男女問わず鑑賞できる機会としたい。

関連事業： 冬耳氏によるギャラリートークを7月5日に開催する。

(2) 『(仮称)思い出の学校展』 ※資料11-12ページ

期間： 令和7年9月6日(土)～令和7年11月24日(月・祝)

※新校舎での学びが始まる時期からの会期とした。

内容： 飯山市立城北小学校が開校する令和7年度、統合する4小学校にまつわる品々や学校の歴史のほか、市内全域から寄せられた小学校時代の思い出などを紹介することで、誰もが小学校時代を懐かしみながら世代を超えて交流できる場をつくる。

具体的には、統合する4小学校で展示されていた絵画作品や授業や行事で使用された備品類をはじめ、市内全域に「小学校時代の思い出」というテーマで募集して寄せられた文章や写真を紹介する。また、可能であれば、信濃教育会が永年保存している4小学校の卒業生の絵画作品を借用展示することも検討中である。

本企画展については、ふるさと館と共同開催する。

関連事業： 会期中、統合する4小学校で使用されていた版画用プレス機を使った版画制作を行うワークショップを開催する。（講師：信州大学准教授 猪瀬昌延先生、版画家 岩本彩花）

3 ギャラリー展等

方針： 市出身あるいはゆかりがあるかどうかに関せず、市外の作家も積極的に紹介し、施設の有効活用・活性化を図る。ただし、令和7年度は冬耳展や思い出の学校展を開催する都合により、2階ギャラリーが使用可能なのは7月と12月から令和8年3月であることを考慮する。

(1) 『北信濃伝統工芸展』(2階ギャラリー) ※関係者と開催するか否か調整中

(2) 登録社会教育団体等から利用希望があれば随時検討する。

4 ワークショップ・美術教室等

方針： 特徴ある美術館づくりを目指して、絵画制作等のワークショップを継続して取り組む。また、美術家等に協力を仰ぎ、美術を身近に感じ楽しむためのギャラリートークやワークショップを実施する。

○夏休み・春休み体験教室の美術・図工の講座を担当実施

市公民館主催の小中学生を対象とした夏休み・春休み体験教室において、美術・図工関連の講座を担当予定。

5 市内の小中学生及び高校生の企画展鑑賞機会を増やす取り組み

(1) 市バスを活用した企画展鑑賞の呼びかけ

令和6年度に引き続き、市内各学校の授業や部活動において企画展等の見学がスムーズに行えるよう学校関係者と連携しながら美術館が市バスを手配し子どもたちの送迎を行う。

6 施設整備等

(1) 伝統産業会館・美術館の冷暖房機のオーバーホールについて

現在の冷暖房機は使用開始（H23年12月）から13年以上が経過しており、修繕に必要な部品等の製造が終了した場合、冷暖房機全体の更新が必要となってしまう可能性があることから、機械全体のオーバーホールを行い長寿命化を図る。

令和7年度は3系統あるうちの1系統分について実施し、残りの2系統分は令和8年度以降に実施予定。

(2) その他の課題

・H9から27年使用している美術館作品展示壁面の老朽化が進んでおり更新が必要。

7 その他

(1) 広報活動について

- ・広報飯山、iネット、防災無線放送を活用した美術館情報の発信等
- ・SNS(インスタグラム)を活用した情報発信

(2) 市民ギャラリーの有効活用について

公民館の廊下壁面などを市民ギャラリーと位置付け、市民から作品展示の希望を美術館で受け付けており、今後も市報やiネットなどで利用を呼びかける。

(市民ギャラリーとして使用している場所)

- ・公民館1階廊下の壁面
- ・公民館階段の壁面
- ・公民館2階ロビーの壁面
- ・図書館の公民館側入口のガラスケース

(3) 五郷研修館の今後の取り扱いについて

五郷研修館（旧五郷分校）はかつて活用してきた経過はあるが、老朽化が著しいため、県外在住の美術家4名にアトリエの片付けを依頼するなど除却に向けた準備を進める。

五郷研修館に保管してある美術館とふるさと館の収蔵資料の一部については、令和7年に統合する4小学校のいずれかの施設に保管したいとの要望を提出済みである。

令和8年度以降の企画展等の予定について

<p>令和8年度 (2026年)</p>	<p>【検討中】 現代美術家、佐々木 晴香氏の作品展</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・飯山市出身でベルリンを拠点に12年以上活動している美術家、佐々木晴香氏の個展を検討中。 ・佐々木氏は、主にアクリル絵具や墨を使った抽象性の高い絵画作品を制作している。また、ヨーロッパ各地でライブペインティングやパフォーマンスも行っている。
<p>令和9年度 (2027年)</p>	<p>【検討中】</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・郷土出身あるいはゆかりのある美術家等の企画展開催を基本とするが、飯山市で紹介することがふさわしい作品による企画展を検討する。
<p>令和10年度 (2028年)</p>	<p>【検討中】</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・郷土出身あるいはゆかりのある美術家等の企画展開催を基本とするが、飯山市で紹介することがふさわしい作品による企画展を検討する。

美術館運営協議会の任期について（説明資料）

1 任期満了となる飯山市美術館運営協議会委員

	氏名等（敬称略）	備考（推薦団体等）
1	廣 靖彦（会長）	学識経験者
2	千坂 経悦（職務代理）	学識経験者
3	飯塚 みずき	飯山市校長会
4	吉越 隆師	飯山市芸術文化協会
5	篠原 敦子	飯山市芸術文化協会
6	明石 洋一	飯山仏壇事業協同組合
7	阿部 拓也	内山紙協同組合
8	佐藤 環	学識経験者
9	前島 憲一郎	社会教育委員会